

めざせ 1 級！ 英語上級者への道 ～Listen and Speak II～

第 6 回 真実を嗅ぎ分けること

日本語訳

■ Dialogue for Introduction

T: やあ、エドワード！ そのグラスに鼻を突っ込んで、何をしているんだい？

E: ああ。このワインの比類なき芳しき香りを味わっているんだ。

T: 君は昼食前に健康によいワインを一杯飲もうと言うわけだね。よい考えた。僕もそうしようかな。しかし、どうしても聞きたいんだが、なぜ君は長いアメリカ人らしい天井鼻をワイングラスに突っ込んでるの？

E: どうしてかって、まあ、よく訓練された鼻だけが、例えばこのワインにあるようなワインの素晴らしさを堪能できるからだよ。

T: 君の鼻はこの特別な高級ワインについて何て言っているのかな？

E: そうだな、ああ、1988 年もののシャトーヌフ・デュ・パプ、シナモンと、少しだけバニラの味を含んだ、オーク樽で熟成された…

T: すごい！ 他には？

E: フランスを中傷するつもりはないが、このときは樽を焦がし過ぎたと思うよ。

T: 君の鼻は本当にたぐいまれな能力を持っているね。文化人だけだよ、そんな素晴らしいことに嗅覚を使えるようにできるのは！

E: テツ、ありがとう。でも、嗅覚の優秀さとなれば僕は別の生物種にかなわないよ。その動物、当ててみて。

T: えっと。犬だ。人間の最良の友は何世紀にもわたって我々にその嗅覚の恩恵を与えてくれている。

E: その通り。このレッスンで、犬が猟場を離れて人間に別の大事な奉仕をする様子がわかるよ。

T: それ以上言うてはだめ。我々は、何か興味深い『臭い』に気付いていると思う。さあ、勉強を始めよう。

■ Listen to the passage and answer the questions that follow.

真実を嗅ぎ分けること (2013 年度第一回 1 級 C No.15, No.16)

警察が、薬物や武器などの違法な品物を見つける一つの方法は、探知犬として知られている特別に訓練された犬を使うことである。これらの犬は、警察官に、車、荷物そして人を調べるための法的な理由を与えるので重要だ。テスト結果は違法な品物があれば、探知犬は大抵それらを発見することを示している。しかし、間違った警告も探知犬はたくさん発する。探知犬を扱う専門家と犬がどこまで訓練されているかによって、50 パーセントから 80 パーセントの間で間違った警告が発せられる可能性がある。このことを理由に探知犬を使うことに反対する人たちもおり、この事実は捜査に関する全体的な適法性に疑問を投げかけるものだと主張している。

カリフォルニア大学の研究チームが、なぜ間違った警告が起こるのかを発見するためにある調査を実

施した。調査は、ハンドラー(犬を扱う専門家)が違法な品物があると疑うと、それがあつ方へ犬を思わず導くことを明らかにした。ハンドラー(犬を扱う専門家)は無意識に体を使った指示を出す。その指示とは、彼らの頭が動く、あるいは、彼らの視線の方向が変つる、といったささいなものであろう。研究チームのリーダーであるリサ・リッツは、この発見は探知犬を使うことに反対する論拠にはならないと強調している。彼女は犬とハンドラー(犬を扱う専門家)に対する研修が改善されれば問題が解決できると示唆している。

【質問】 次の2つの質問に、それぞれ 30 秒以内で答えて下さい。

No.1 探知犬について話者が言っていることの一つはなんですか。

No.2 リサ・リッツは探知犬についてどんなことを信じていますか。

■Let's study vocabulary and expressions

日本語を聞いて、エドワードのあとについて繰り返してください。

1	違法の	illicit
2	探知犬	detection dog
3	合法的理由	legal cause
4	～(犬)を扱う専門家	handler
5	警告	alert
6	～に疑問をなげかける	cast doubt on～
7	適法性	legality
8	調査を行う	carry out a study
9	思わず	inadvertently
10	微妙な	subtle
11	視線の方向	direction of the gaze

■Listen to the passage and once more answer the two questions that follow.

真実を嗅ぎ分けること (2013 年度第一回 1 級 C No.15, No.16)

警察が、薬物や武器などの違法な品物を見つける一つの方法は、探知犬として知られている特別に訓練された犬を使うことである。これらの犬は、警察官に、車、荷物そして人を調べるための法的な理由を与えるので重要だ。テスト結果は違法な品物があれば、探知犬は大抵それらを発見することを示している。しかし、間違つた警告も探知犬はたくさん発する。探知犬を扱う専門家と犬がどこまで訓練されているかによって、50 パーセントから 80 パーセントの間で間違つた警告が発せられる可能性がある。このことを理由に探知犬を使うことに反対する人たちもおり、この事実は捜査に関する全体的な適法性に疑問を投げかけるものだと主張している。

カリフォルニア大学の研究チームが、なぜ間違つた警告が起こるのかを発見するためにある調査を実

施した。調査は、ハンドラー(犬を扱う専門家)が違法な品物があると疑うと、それがあつ方へ犬を思わず導くことを明らかにした。ハンドラー(犬を扱う専門家)は無意識に体を使った指示を出す。その指示とは、彼らの頭が動く、あるいは、彼らの視線の方向が変つる、といったささいなものであろう。研究チームのリーダーであるリサ・リッツは、この発見は探知犬を使うことに反対する論拠にはならないと強調している。彼女は犬とハンドラー(犬を扱う専門家)に対する研修が改善されれば問題が解決できると示唆している。

【質問】 次の2つの質問に、それぞれ 30 秒以内で答えて下さい。

No.1 探知犬について話者が言っていることの一つは何ですか。

No.2 リサ・リッツは探知犬についてどんなことを信じていますか。

■Repetition and Interpretation Drill

英文がポーズ付きで読まれます。また日本語の訳が流れます。

- 1) ポーズの間に英語をリピートしましょう。きちんとリピートできるようになるまで何度も練習しましょう。
- 2) 聞きながら、ポーズの間に日本語に通訳しましょう。モデルの日本語が流れるまえに、自分の訳を言い終えることができるように、何度も練習しましょう。
- 3) 英文が聞こえるのと同時に、シャドーイングをしてみましょう。さらにポーズの間に日本語に通訳しましょう。

真実を嗅ぎ分けること

警察が、薬物や武器などの違法な品物を見つける一つの方法は、探知犬として知られている特別に訓練された犬を使うことである。

これらの犬は大切だ。

というのも、その犬たちが警察官に、車、荷物そして人を調べるための法的な理由を与えるからだ。

テスト結果によれば

違法な品物があれば探知犬は大抵それらを発見する。

しかし、間違った警告も探知犬はたくさん発する。

探知犬を扱う専門家と犬がどこまで訓練されているかによって、

50 パーセントから 80 パーセントの間で間違った警告が発せられる可能性がある。

この理由から探知犬を使うことに反対する人たちもいる。

彼らはこの事実が捜査についての全体的な適法性に疑問を投げかけるものであると主張している。

カリフォルニア大学の研究チームがある調査を実施した。

なぜ、間違った警告が起こるのかを発見するために。

調査の結果によれば、

犬を扱う専門家が違法な品物があると疑うと、

それがあつ方へ犬を思わず導く。

犬を扱う専門家は無意識に体を使った指示を出す。
それは、彼らの頭が動くなどささいなものであろう。
あるいは、彼らの視線の方向が変わるといったささいなものであろう。
研究チームのリーダーであるリサ・リッツは次のように強調する。
この発見は探知犬を使うことに対する反論ではないと。
彼女は問題が解決できることを示唆している。
犬と、犬を扱う専門家に対する改善された研修によって。

■ Model answers

解答例を聞いて、自分の答えと比べてみて下さい。

T: さて、エドワード、君の答えはどうだろう。1 番「探知犬について話者が言っていることの一つはなんですか」

E: 話者は探知犬が大抵違法なものを発見するのに成功する一方で、間違った警告をよく発すると述べている。

T: ありがとう。2 番「リサ・リッツは探知犬についてどんなことを信じていますか」についてはどうだろう。

E: 彼女は間違った探知についての問題は、犬とハンドラー（犬を扱う専門家）両方に対するより改善されたトレーニングで解決される可能性があると言っている。

T: ありがとう。

■ Challenge 1

T: さて、エドワードが話をします。賛成の意見あるいは反対の意見を言ってください。最低 30 秒は話し続けるようにしましょう。

E: 探知犬は禁制品の密輸の問題に対する完璧な答えだ。犬のパトロールチームの数を増やす一方で、今あるトレーニングプログラムを継続すべきだ。これで我々の旅行はより安全になり、よりくつろげるものになるだろう。

(解答例)

E: さて、テツの話を聞いて見ましょう。模範例を皆さんに伝えます。よく聞いて、自分の答えと比べてみて下さい。

T: 世界中の税関の職員や警察機関に対し、探知犬が大切な助けを提供していることは確かだ。本当に違法な物を発見する一方で、探知犬による間違った警告が 50 から 80 パーセントの間の確率で発せられる。警告が間違いであっても、あなたは荷物を開けて、厄介で時間のかかる検査に応じることを強要されるだろう。私はこの検知プログラムの継続を支持するが、しかし、間違った警告の数を減らすためにより多くのトレーニングが求められる。

■ Challenge 2

E: よく聞いてください。次の発言に、最低 1 分間は、反対の意見を言ってください。皆さんの発話には、聞いた英文に書かれてあったいくつかの要点が含まれていないといけません。用意はいいですか。

T: 犬はペットとして買うのが一番だ。考えられる最悪の犬の使い方は探知犬のチームに入れることだ。探知犬はよく間違った警告を出す。本当に問題なのは、当局がその同じ間違った警告をどんなときでも誰の物でも検査するための言い訳として使うことができるということだ。まったくこれは安全と言う名の下でプライバシーの侵害へと向かう道を進むさらなる一歩である。

T: 模範例。ではエドワードの発言を聞いて見ましょう。彼が皆さんに例を示してくれます。よく聞いて、自分の答えと比べてみましょう。

(解答例)

E: 犬は、本当に素晴らしいペットになる一方で、いつもいろいろな方法で我々の役に立ってきた。今日の世界の安全保障問題の現実には、我々の旅の拠点の安全を維持するために、我々が使うことができるあらゆる道具を使うことを求めている。探知犬のチームが、現在、実際に多くの間違った警告を出していることは本当のことだ。しかし、それは旅行をする多くの人々の安全のために支払う小さな代償だ。間違った警告の問題はハンドラー(犬を扱う専門家)である人間と、彼らのチームの一員である犬の両方に対するなお一層のトレーニングによって修正できる可能性がある。ちょっとした当惑は深刻なプライバシーの侵害にはならないし、安全への見返りは面倒があっても十分その価値がある。小さなことにこだわって大きなものを失うべきではない。言わば、「不要な風呂の水を捨てようとして赤ん坊と言う大切なものまで捨ててしまってはならない」のだ。

■ Closing Dialogue

E: テツ、さあ質問の時間だ。今日の題材をじっくり味わったあとで、探知犬と我々の安全についてどう思うかな。

T: 複雑な質問で迷ってるよ。安全は確かに大切だけれども、僕は個人的な自由を維持することがとても気がかりなんだ。こうしたチームは独裁者『ビッグブラザー』(ジョージ・オーウェル著『1984』に登場する独裁者の名前)の世界に近づくさらなる一歩をもたらす可能性があるかもしれない。

E: 僕も同じ板挟みになった気分だよ。聞いている方々それぞれに答えを考えてもらうことにしよう。とりあえず、この素晴らしいワインを一杯どうかね。

T: 君のようにワインを嗅ぎ分ける鼻を持っているかどうかわからないが、もちろんいただくよ。タロー君とも遊ぼう。

E: そうだ。タロー君を呼んで。君は僕がこれまで見た中で一番かわいい犬の頭を飼っている。

T: そうだろ? 僕はタロー君のプライバシーを侵害しないと約束もできるよ。

E: そういうことで、皆さんに乾杯だね。皆さんの語学力向上に乾杯!

T&E: またお会いしましょう。